

2025年11月

IRご担当者の皆さん

一般社団法人 日本IR協議会

専務理事 佐藤 淑子

「IRカンファレンス2025」開催のご案内(ハイブリッド形式)

高度化する経済と資本市場～IRの果たす役割

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協議会の活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本IR協議会と日本経済新聞社は、「**高度化する経済と資本市場～IRの果たす役割**」を総合テーマとして、12月19日(金)に「IRカンファレンス2025」を共催いたします。今回は東京・大手町の会場で参加者のみなさまをお迎えするとともに、内容をオンライン配信する“ハイブリッド”形式にて開催いたします。

人工知能(AI)をはじめとする技術革新が、社会に大きな影響を及ぼしています。多くの技術はスピード感をもって事業化され、新たなニーズや需要を掘り起こしています。デジタル・トランスフォーメーション(DX)導入に加え、新たな製品・サービスなどの開発も進んできました。技術革新を軸とした将来の成長に対する投資家の期待は高く、資本市場には継続してマネーが流入しています。

こうして高度化する経済と市場ですが、これまでの経験では見通しにくい領域への参入や、急激な変化に伴うリスクも懸念されます。市場参加者の世代交代もあり、IR活動においては、従来以上に綿密な情報開示と経営トップによる対話の拡充、経営のモニタリング体制の説明などが重要になっています。IRを担う組織・体制の整備も課題です。新技術を活用した業務の見直しや次世代の人才培养、経営や関係部門との連携などが求められます。環境が大きく変化するなか、IRはどんな役割を果たすのでしょうか。このカンファレンスでは、経営と一体感をもってIR自体が進化するための要点を考えていきます。

今回のIRカンファレンスも、資本市場と企業でご活躍なさっているみなさまにご登壇いただけることになりました。基調講演、パネルディスカッションとも、資本市場、企業経営トップ、機関投資家を代表する方々をお招きし、それぞれのお立場からお話をいただきます。ご多用中とは存じますが、みなさま方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

敬具

開催概要 (プログラムは4ページをご覧ください)

- ・基調講演は、「コーポレートガバナンス改革の実質化に向けた論点と方向性」をテーマとして、**京都大学 経営管理大学院 客員教授 上田 亮子氏**にご登壇頂きます。

コーポレートガバナンス改革の実質化に向けた取り組みが続いている。近年では金融庁と東京証券取引所は、「コーポレートガバナンス改革の実践に向けたアクション・プログラム2025」において「稼ぐ力の向上」「情報開示の充実・投資家との対話促進」などの5つの課題と今後の方向性を示しました。2026年にはコーポレートガバナンス・コードの改訂も予定されており、企業の持続的な成長と企業価値向上に向けて、さらなる取り組みが期待されています。ただ株主・投資家の間との認識ギャップは常に存在します。企業のみならず、双方がガバナンス改革の目的を改めて認識し、従来以上に建設的に向き合う姿勢が重要と考えられます。

基調講演では、「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」のメンバーでもある京都大学 経営管理大学院 客員教授 上田 亮子氏に、コーポレートガバナンス改革の実質化に向けた論点と今後の方向性を中心にお話いただきます。

- ・「IR優良企業賞2025」表彰式は、当協議会会長の手代木 功氏(塩野義製薬 代表取締役会長兼社長CEO)より**ご挨拶**申し上げた後、審査委員長の北川 哲雄氏(青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授)から**審査講評**を頂きます。

受賞企業へのトロフィー授与後、経営トップの方からスピーチをいただきます。

- ・パネルディスカッションは、「高度化する経済と資本市場～IRの果たす役割」をテーマに議論します。

企業と資本市場を取り巻く環境は激変しており、従来以上に綿密な情報開示と経営トップによる対話の拡充、経営のモニタリング体制の説明などが重要になっています。近年「IR優良企業」に選ばれている企業は経営層が投資家の視点を踏まえて経営戦略を策定し、対話で得られた気づきなども活用しています。情報開示のタイミングや内容にも気を配り、投資家との距離感を縮める行動をとっています。ガバナンス体制の軌跡をIRで説明したり、社外取締役が投資家と対話する機会を設けたりという活動も進めています。一方、投資家サイドの観点からは、日本資本市場における企業価値の評価は、さちに高まる余地があるとみられています。

今回は上場企業の経営層として**アシックス 常務執行役員CFO 林 晃司氏、コマツ 代表取締役(兼)専務執行役員CFO 堀越 健氏**、機関投資家として**アモーヴァ・アセットマネジメント サステナブルインベストメント部 共同部長 小松雅彦氏**をお迎えしてディスカッションします。コーディネーターは日本IR協議会専務理事の佐藤淑子が担当する予定です。

- ・IR支援企業様などによる**分科会(講座)**、**IRショーケース(展示)**も行う予定です。詳しくは、5ページ以降またはウェブサイトをご覧ください。

開催要領

■日 時: 2025年12月19日(金)

メインホール10:30開演(10:15開場) ※分科会9:30スタート(9:00開場)

※会場参加とオンライン参加によるハイブリッド開催(事前選択)。

なお、分科会のオンライン参加はございません。

※後日、アーカイブ(オンデマンド)配信も予定しております(1月初旬まで予定)。

視聴方法はカンファレンス終了後、参加申込の皆様に、改めてお知らせいたします。

■会 場: 大手町プレイスホール&カンファレンス(千代田区大手町二丁目3番1号)

■主 催: 日本IR協議会、日本経済新聞社

■後 援: 日本取引所グループ(JPX)／東京証券取引所、日本公認会計士協会、
日本証券アナリスト協会、

■参加費:

会 員/1名につき【会 場】 4,400円(税込)【オンライン】 3,300円(税込)

非会員/1名につき【会 場】 11,000円(税込)【オンライン】 8,800円(税込)

※本カンファレンスは、昼食のご用意はございません。

※お申込み受付後、請求書を発行いたしますので12月末日までにご入金ください。

■お申し込みについて:

○申込方法

当協議会ホームページ <http://www.jira.or.jp/> からお申込みください。

※会場聴講のお申込・ご参加は、1社あたり2名様までとさせていただきます。

分科会へのご参加も事前申込が必要です。※分科会のみのご参加はできません。

※分科会のオンライン配信はありません。

※分科会は各会場の定員に達した時点で順次、申込みを締め切らせていただきます。

○申込締切

会場聴講: 12月10日(水) オンライン聴講: 12月15日(月)

※会場聴講(定員300名)は定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。

○キャンセル期日、お申込み後の変更について

キャンセルをお受けする期日は、12月16日(火)17時までとさせていただきます。

また、お申込み後に会場聴講→オンライン聴講への変更は可能ですが、上記の期日以降は、会場聴講の費用となりますことを予めご了承ください。

○その他

* お申込み登録完了後には、受講票がメールにて送付されます。受講票が受信されない場合には申込みが完了しておりませんのでご注意ください。

* 感染拡大の状況によっては会場聴講を中止し、オンラインのみとなる場合もございます。あらかじめご了承いただき、お申し込みをお願いいたします。

* ご記入いただいた個人情報はご本人の承諾なく本カンファレンスの実施目的以外には使用いたしません。

* 視聴に必要なURL及びID・パスワードを12月17日(水)迄にメールでご連絡します。なお、ID・パスワードはご参加者本人様限りのご使用をお願いいたします。

■オンライン配信について

オンライン配信は、Brightcoveにて実施いたします。

各企業様の社内LAN経由で、セキュリティ設定の関係上、アクセスできない場合がございます。

つきましては、貴社IT部門・システム部門等にご相談の上、アクセス環境を確認のうえご参加の申込みをお願いいたします。

<Brightcove Player システム要件>

<https://ja.player.support.brightcove.com/references/brightcove-player-system-requirements.html>

※ご不明の場合には、お申込み前に当協議会あてにお問い合わせください。

※社内LAN以外でアクセスされる場合には、通信状況により動画・音声が途中で途切れるなど、視聴に支障が出る可能性があることをお含み置きください。

※社内LANからのアクセス不可、社内LAN以外のご利用時の通信障害等が発生いたしました、参加費のご返金は致しかねます。また通信料は貴社またはご参加者のご負担となります。

IRカンファレンス プログラム

2025年12月19日（金）

9:30-10:15 分科会（1階フロア） ※事前登録制

10:30-11:15 基調講演（2階メインホール）

「コーポレートガバナンス改革の実質化に向けた論点と方向性」

講師：京都大学 経営管理大学院 客員教授 上田 亮子氏

11:15-12:30 ブレイク

11:30-12:15 分科会（1階フロア） ※事前登録制

12:30-14:00 「IR優良企業賞2025」 表彰式

主催者挨拶 手代木 功

（日本IR協議会会長／塩野義製薬 代表取締役会長兼社長CEO）

審査講評 北川 哲雄氏

（優良企業賞審査委員長／青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授）

受賞企業へのトロフィー授与と経営トップの方によるスピーチ

14:00-14:30 ブレイク

14:30-15:45 パネルディスカッション

「高度化する経済と資本市場～IRの果たす役割」

パネリスト：

- ・アシックス 常務執行役員 CFO 林 晃司氏
- ・コマツ 代表取締役（兼）専務執行役員 CFO 堀越 健氏
- ・アモーヴァ・アセットマネジメント サステナブルインベストメント部 共同部長
小松 雅彦氏

コーディネーター：日本IR協議会 専務理事 佐藤 淑子

16:00-16:45 分科会（1階フロア） ※事前登録制

16:45 全プログラム終了

※プログラム内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

展示・分科会など

■主催・後援団体（資料設置）

日本取引所グループ(JPX)／東京証券取引所

日本公認会計士協会

日本証券アナリスト協会

日本経済新聞社 情報サービス部門 情報サービスユニット

■IRショーケース（展示時間：終日）

出展社	展示内容
①インベスター・コミュニケーションズ	IR開示コンサルティング（中期経営計画・決算説明会）、およびスポンサードリサーチ・個人投資家向け資料をワンストップで制作。IR業務負担の軽減を実現するサービスを事例を交えてご紹介します。
②S&P グローバル・マーケット・インテリジェンス	金融市場・競合他社・各社のパフォーマンス・モニタリング業務の効率化に加え、株主の獲得と定着株価評価の向上、ボラティリティの低下を実現する一連のソリューションを提供しています。
③インフォネット	IR活動における情報発信の高度化を支援すべく、Webサイトの構築・改善を基軸に、統合報告書や説明会資料、翻訳までを一貫してサポート。企業価値を的確に伝える情報開示体制の実現を支援。

④ストリームライン	当社の資料作成支援事業から生まれた、上場企業約3,400社のIR資料をスライド単位で検索できる新サービス「LEAD SEARCH」。デモンストレーションを交えながら、その機能についてご紹介いたします。
⑤エイアンドピープル	欧米では説明責任に不可欠な「プレインランゲージ」が定着。DX・AIとも相性が高く、翻訳もスムーズなプレインランゲージで、A&Peopleは英文IR資料の明快で円滑な情報発信をサポートします。
⑥アイ・ディー・エス	日英同時の英文開示に特化した翻訳サービスを提供。当社は、米日の英文事例から開示用語の採用傾向等をご紹介します。同時開示の実現や負担軽減のご相談も承りますので、ぜひお立ち寄りください。
⑦川村インターナショナル	日英同時開示に対応できる金融分野に特化したAI翻訳ツールの導入支援から、統合報告書や有価証券報告書などの翻訳コスト削減まで、翻訳の課題をお持ちの方はぜひお気軽にお立ち寄りください。
⑧サン・フレア	年間1300社以上のクライアント実績を誇る国内最大級の翻訳会社です。IR専門チームでは財務情報、非財務情報などIRに関するドキュメントを高品質・スピーディーに対応致します。
⑨ジェイ・ユーラス・アイアール	「面白かった」 - そう思っていただけるように、創業25周年のIRコンサルティングのパイオニアが1日限りの特別なショーケースをご準備してお待ちしております。
共催: 日本経済新聞社 情報サービス部門 情報サービスユニット	企業・業界分析プラットフォーム「日経バリューサーチ」は、ニュース記事検索やESG情報、株主総会関連データの収集・分析、資本コスト・企業価値の算出に対応。IR業務を強力に支援いたします。

■IR分科会

- ◎分科会では朝・夕はソフトドリンク、昼は軽食をご用意します。オンライン配信はありません。
- ◎IR分科会聴講をご希望の方は、事前のお申込みをお願いします。IR分科会聴講だけの入場は出来ません。※1社あたり2名までのお申込みとさせていただきます。
- ◎当日は必ずIRカンファレンスの受付を済ませてから、IR分科会の会場へお入りください。

●定員:分科会 ①⑤⑨は55名／②⑥⑩は64名／③⑦⑪は58名／④⑧⑫は55名(先着順)

●お申込み方法:参加を希望する会場・会社名をお申込みください。

※当日、講演開始後に空席がある場合のみ事前申込されていない方の入場が可能ですが。

●朝パート 9:30～10:15 ドリンク付き ①～④

開催社／会場	講座内容
【分科会①】 (カンファレンス101) Euroland IR	<p>テーマ：『AIを活用したデジタルIR戦略』 講師：Euroland IRアジア統括責任者 ジェニー・ジー・ホアン／Jenny Jie Huang氏</p> <p>顧客に合わせてカスタマイズされたIR Webページを紹介する。 AI技術活用しながらマルチ言語に対応し、企業と投資家の対話をより強化するための最新のツールのデモンストレーションを行う。</p>
【分科会②】 (カンファレンス103) ストリームライン	<p>テーマ：IR資料の作成プロセスを完全公開！多忙なIR担当者のための明日から使えるパワーポイント資料作成術 講師：ストリームライン デザイングループ マネージャー 平林 宗二郎氏</p> <p>「時間がない。でも品質は上げたい…」そんなIR担当者必見。180社を超える実績から導く「構成」と「デザイン」の”押さえるべきポイント”を、実際のプロセスに沿って徹底解説します。</p>
【分科会③】 (カンファレンス105) S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス	<p>テーマ：同意なき買収の最新動向とIR対応 講師：森・濱田松本法律事務所外国法共同事業 パートナー弁護士 金村公樹氏、(モテレーター)S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス イシュアーソリューションズ ヘッド・オブ・ジャパンアドバイザリー 伊奈伸一氏</p> <p>活発化する同意なき買収の最新動向について、企業法務の最前線で活躍する金村弁護士に解説いただきます。企業のIR・SR業務において留意すべき点は何なのか、理解を深める機会になると考えます。</p>
【分科会④】 (カンファレンス106-7) 野村インベスター・リレーションズ	<p>テーマ：第一部・情報開示をめぐる動向と価値創造ストーリーについて／第二部・スポンサード・リサーチについて 講師：野村インベスター・リレーションズ ソリューション部 小早川海夏氏、遠藤哲氏</p> <p>第一部では、情報開示をめぐる動向や情報開示の中核となる「価値創造ストーリー」などをご説明。第二部ではスポンサード・リサーチを利用するメリット、投資家の利用状況などをお伝えいたします。</p>

●昼パート 11:30～12:15 軽食(サンドイッチ)・ドリンク付き ⑤～⑧

開催社／会場	講座内容
【分科会⑤】 (カンファレンス101) インフォネット	<p>テーマ:株主・投資家との対話を深める～今IRサイト担当者に求められる情報開示戦略～ 講師:インフォネット メディアプロデュース部 マーケティングユニット 村岡 祐輔氏</p> <p>投資家に“選ばれる企業”には理由がある。株主・投資家と企業を結ぶWebサイトをいかに設計すべきか、情報の伝え方、見せ方の工夫を、事例を交えながら解説します。【特典】IR情報 分析資料を無料提供。</p>
【分科会⑥】 (カンファレンス103) タイグラントナーズ	<p>テーマ:激変するIR～今求められる次世代のIR人材とは？ 講師:浜辺真紀子事務所 代表 大塚商会 独立社外取締役 日本マクドナルドホールディングス 独立社外監査役/元 ヤフー(現LINEヤフー) SR(ステークホルダーリレーションズ)本部長 浜辺 真紀子氏、タイグラントナーズ マネージングディレクター(IR領域担当) 小口 敏樹氏</p> <p>対話型IR、ESG、株主重視、グローバルガバナンス圧力など、IRが重要な経営アジェンダとなる中で、元ヤフーIR責任者 浜辺氏が、IRの最新潮流を踏まえ、次世代のIR人材像について解説します。</p>
【分科会⑦】 (カンファレンス105) リンクソシュール	<p>テーマ:PERを最大化するIR～資本市場の“期待”を紡ぐコーポレートプランディング 講師:リンクソシュール 代表取締役社長 日本IRプランナーズ協会 理事 白藤 大仁氏</p> <p>PER最大化の観点から、資本市場の期待を紡ぐIR戦略の重要性が増しています。未来に成長する確からしさを高めるため、資本市場に向けたコーポレートプランディングサイクルについて解説します。</p>
【分科会⑧】 (カンファレンス106-7) インベスター・コミュニケーションズ	<p>テーマ:①「ディスクロージャー優良企業」のIR開示戦略②スポンサード・リサーチの新機軸～機関投資家と個人投資家を一気通貫にアプローチする新戦略～ 講師:インベスター・コミュニケーションズ 代表取締役 富田耕輔氏</p> <p>①開示支援先企業の取組事例を通じ、アナリスト・機関投資家に支持される開示のヒントを探ります。②スポンサード・リサーチを機関投資家だけでなく個人投資家へのアプローチにも活用する事例を紹介します。</p>

●タパート 16:00～16:45 ドリンク付き ⑨～⑫

開催社／会場	講座内容
【分科会⑨】 (カンファレンス101) ウィルズ	<p>テーマ:統合報告書×パーカスプランディング 講師:エスエムオー CEO 齊藤 三希子 氏、富士フィルムホールディングス コーポレートコミュニケーション部 ブランドマネージメントグループ マネージャー 松永 麻衣子氏、ウィルズ 常務取締役・コーポレートコミュニケーション本部 部長 山本 章代 氏、ウィルズ コーポレートコミュニケーション本部CCソリューション部 事業企画グループ長 間宮 孝治 氏</p> <p>統合思考経営にとって理念やパーカスの浸透は最重要課題のひとつです。統合報告書の制作を通じてパーカスのプランディングする方法を探ります。</p>
【分科会⑩】 (カンファレンス103) ジェイ・ユーラス・アイアール	<p>テーマ:アクティビスト・同意なき買収時代の攻めのIRの進め方 講師:ジェイ・ユーラス・アイアール ディレクター 鈴木 紀子氏 ディレクター 原山 真紀氏</p> <p>アクティビストや同意なき買収が激化する環境において、戦略的な攻めのIRの推進が求められています。IRの観点から、最新の動向や平時のIRの留意事項、IRに求められる役割について徹底解説いたします。</p>
【分科会⑪】 (カンファレンス105) アバントグループ	<p>テーマ:資本コスト経営の架け橋となるIR部門～投資家と社外取締役を繋ぐ経営企画部門の挑戦～ 講師:アバントグループ グループCSO/アバント取締役 諸井 伸吾氏</p> <p>投資家との対話で資本効率について深い議論が求められていませんか？そのために必要なのが、俯瞰的な視点と計算力です。様々なシナリオ毎にIR戦略・経営戦略を支援する武器を紹介します。</p>
【分科会⑫】 (カンファレンス106-7) Straker Japan	<p>テーマ:AIが拓くIRの未来 - 海外投資家と企業をつなぐ新たな選択 講師:ストレイカーグループ 日本・アジア地域 戦略・事業統括シニアバイスプレジデント 三森 晓江氏</p> <p>AIを活用した新しいIRソリューションで、企業は人的な制約を超え、真に伝えたいメッセージを世界の投資家へスピーディに届けられます。</p>

●お問い合わせ 一般社団法人 日本IR協議会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル9階

電話 03-5259-2676 FAX 03-5259-2677 E-mail: seminar@jira.or.jp